

- 面積は小さいが重要な生物多様性の価値を持つ場所も存在するため、30by30目標について、面積のみを優先するのではなく、質の確保も意識すべき。
- 海における民間等の活動も促進すべき。
- 鎮守の森についても注目すべき。
- 地方公共団体や大学等へのサポートについても検討すべき。
- 自然共生サイトは手挙げ制だが、ポテンシャルを持つ場所を抽出し、積極的に保全活動を促すことも重要。
- 活動の継続と質の担保、それと併せたモニタリングの確保が重要。
- 開示への対応に活用できる仕組みとすべき。
- インセンティブの検討を進めるべき。